

平成28年度予算編成方針

回復基調にあった神奈川県の実況も、少なからず中国経済減速の影響を受けているようです。

一方、雇用情勢においては、「人口減少・少子高齢化の進展」が経営課題として認識されるとともに、「高齢労働者の活用や拡大」により労働力の確保を検討している。

このような状況のなか、座間市シルバー人材センターとしては、

○全シ事業協会が推進する「会員100万人達成計画」に基づき、働き手である会員の増強・拡充を昨年に引き続き行う。

- ・出張説明会の実施
- ・会員体験談の発表

等、「身近なシルバー人材センター」を打ち出すことを計画

○「高齢労働者の活用や拡大」のための企業との連携

委任・請負・一般労働者派遣事業・有料職業紹介と多様な就業形態による適正な就業の紹介とシルバー人材センターの会員が就業するメリットを説明し、企業との共存を図る。

○年金受給者世代への生きがいの場の提供

シルバーならではの地域貢献を意識した就業や就業以外の場の提供

○安全就業の徹底

個別事項の安全対策については例年行っているが、会員全員に関係する熱中症予防対策を講じるとともに、道路交通法の改正で大きく変わった、自転車の交通ルールについての認識を深めるため昨年に引き続き「自転車シミュレーター体験」講習会を行う。

さらに、現在欠員となっている安全推進員についても充足を行う予定。

○事業費補助金確保のための事業展開

運営費補助から事業費補助へと移行しているため、一般労働者派遣事業の事業展開による補助金の確保を図る。

○事務局体制の強化

拡大する業務への対応、多様化する業務処理を担う事務局体制を強化し、事務局組織の安定化を図る。

平成24年に公益認定を受け5年目の事業年度を迎えます。

公益法人としての目的を達成するため、法令順守の上で事業を進めてまいります。

28年度目標値

新規入会会員 100人

就業延人員 71,000人日(一般労働者派遣事業含む)

就業率 90.0%(一般労働者派遣事業含む)

実施計画

(1)雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の提供

(2)雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の提供

既存のお客様へのアフターフォローをすすめるなかで、今後センターの仕事として受注できることを提案できるよう努めます。

就業内容を再度検討し適正就業の観点から、委任・請負業務、職業紹介事業及び一般労働者派遣事業に則した契約をすすめます。

また、現存の独自事業については活性化するための研究と、新規独自事業のため調査・検討し提案する。

なお、座間市総合計画に上がっている事業への参画及び一般労働者派遣事業では補助対象事業の人手不足分野(介護等)での就業について今後の拡大を検討します。

(3)就業等に必要な知識及び技能の付与を目的とした講習

会員の拡大及びスキルアップを目的として①～③の講習会等を実施するとともに、新たな就業機会確保並びにスキルアップのための講習会について検討します。

なお、①②の講習については、市内高齢者からの参加者も募り会員の拡大につなげることを検討します。

また、安全就業の観点から④の講習会を実施します。

①植木剪定講習会

②チェーンソー取扱い講習会

③接遇研修会

④熱中症予防講習会

(4)高齢者のための臨時的かつ短期的な就業及びその他の軽易な業務に係る就業等を通じて、高齢者の生きがいの充実、福祉の増進及び社会参加の推進を図るために必要な事業

①入会説明会・手続きの実施

・入会希望者への説明会・・・月2回

・入会手続き・・・月2回

また、日を特定せず高齢者の就業相談に応じます。

②会報・ホームページでの情報発信

会報「シルバーざま」

ホームページの充実

③ボランティア・活動啓発事業の実施

10月の普及促進啓発月間の事業について、昨年実施したシルバーフェスティバル開催方法や地域ボランティア活動を検討

市役所アトリウムでの啓発活動の実施

(5)高齢者の多様な就業機会の確保及び地域社会、企業等における高齢者の能力の活用を図るために必要な事業。

①日々の生活を豊かにするために

ア スマートフォン・タブレット使い方講習会

イ 介護予防事業の定期的に参加できる講習会を市と連携して開催

ウ 体験型研修会「自転車シミュレーター体験」

(6)その他目的を達成するために必要な事業。

①会員の増強

平成23年度をピークとして会員数は減少傾向にあります。多様な就業機会を確保するためにも既存会員の定着率のアップ並びに新規会員の獲得を進めます。

◎会員状況調査を実施しニーズを把握し、就業意欲のある会員には希望職種と現状紹介できる職種のミスマッチについて理解を求めます。

◎出張説明会を引き続き実施するとともに、入会承認までの期間を短縮できるよう努めます。

②地区懇親会への支援

③事務局体制の強化

多様化するニーズに対応するため、また事務局の安定運営に向け新たな職員を採用し事務局の基盤の安定を目指します。

なお事業を実施するうえで、全国シルバー人材センター事業協会並びに神奈川県シルバー人材センター連合会からの情報提供等連絡を密にすることで時代に則した事業を実施します。